

国東市教育委員会アクションプラン

目標及び指標

【目標】

- 1 小学校・中学校ともに、すべての教科・項目において、全国平均以上の学力を保障する。
- 2 授業改善5点セットの検証・改善サイクルを確立する。

達成指標	取組指標
1 全国学力・学習状況調査・大分県学力定着状況調査において、小学校・中学校ともに全教科(知識・活用それぞれ)全国平均を上回る。 【H27の状況は、「1 学力の状況」を参照】	1 全小・中学校が授業改善5点セットについて、学期ごとに取組指標・検証指標について評価し、改善を行う。 2 家庭や地域の取組を含めた学力向上プランを作成し、学期ごとに学校の取組指標は8割以上実施する。 3 毎学期末に児童生徒による授業アンケートを実施する。 4 中学校教科研修協議会を4回以上実施する。
2 全国学力・学習状況調査・大分県学力定着状況調査において、全教科(知識・活用それぞれ)全国平均を上回る学校の割合を以下のとおりとする。 小学校:6/11 【H27全国調査2/11 県調査4/11】 中学校:2/4 【H27全国調査1/4 県調査0/4】	5 学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員の公開授業に一人1回以上参加する。 6 中学校数学教員は、数学の学力向上支援教員公開授業、数学の習熟度別指導推進教員の公開授業に2回以上参加する。 7 中学校英語教員は、英語の学力向上支援教員公開授業、英語の習熟度別指導推進教員の公開授業に2回以上参加する。 8 ブロック内の自主公開研究発表会に1校一人以上参加する。

行動計画

- ① 授業改善に関する行動計画
 - ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて(管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む)
 - 授業改善5点セットの取組推進(H27～継続)
 - ・全学校において、授業改善5点セットの取組を校内研究の中心に位置づけて推進する。
 - ・児童生徒の課題解決に向けた「授業改善テーマ」を設定し、取組内容を日常的に実施する。
 - ・取組指標・検証指標を学期ごとに評価し、次学期に向けて検証・改善を図る。
 - 全学校自主公開研究発表会の実施(H25～継続)
 - ・2年間ないし3年間の継続した校内研究(授業改善)に取り組み、その成果を他校に発信する。
 - ・他校の自主公開研究発表会に参加し、すぐれた実践を参考にし、自校の取組に生かす。
 - 児童生徒による授業アンケートの実施と活用(H27～継続)
 - ・全学校において、各教員が前年度の課題として残ったアンケート項目(個人内で肯定的回答が低い項目)について、前年度を上回る結果となるよう授業の改善を図る。
 - 学力向上支援教員・指導教諭による活用型授業の普及(H21～継続)
 - ・国語、算数・数学、理科、英語において、思考力・判断力・表現力等を育成する授業実践を行い、他の教員に対して、授業を公開したり、実践発表を行ったりする。
 - 管理職による授業改善の推進(H25～継続)
 - ・管理職が日常的に授業観察を行い、学校独自の授業観察シートをもとにして教員を指導する。
 - イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)
 - ユニバーサルデザインの授業づくり《基礎的環境整備の工夫》(H25～継続)
 - ・習熟ができていく児童生徒が楽しく「わかる」「できる」ことをめざし、焦点化・視覚化・共有化等の工夫を行う。
 - 合理的配慮の提供(H25～継続)
 - ・ユニバーサルデザインの授業を実施しても習熟ができていく児童生徒に対しては、一人一人に応じた個別の支援を行う。
 - 発展的な問題等への挑戦(H25～継続)
 - ・習熟が進んでいる児童生徒については、他の児童生徒へ説明させたり、類似問題を作成させたり、発展的な問題に挑戦させたりする機会を作る。
 - 補充学習の充実(H25～継続)
 - ・朝の帯時間や放課後等を活用して、一人一人に応じた内容のプリント学習を実施する。
 - 習熟度別指導推進教員による習熟度別指導の推進(H25～継続)
 - ・算数・数学、英語において、習熟度別指導を実践し、公開授業や実践発表を通して習熟度別指導のあり方を提起する。
 - ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて
 - 公開授業の実施
 - ・国語科学力向上支援教員による学校司書と連携した授業実践を公開し普及を図る。
 - エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)
 - 授業研究会の実施
 - ・くにさき地区教育研究会の各教科部会において、授業研究会を実施し教科指導力の向上を図る。
 - 教科研修協議会の実施【H28新規】
 - ・くにさき地区教育研究協議会の各教科部会とは別に、教科担当者ごとに集う教科研修協議会を年間4回以上実施し、教科の専門性をより高め、思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業づくり等について協議し、実践的指導力を高める。
- ② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼保小の連携、小中の連携を含む)
 - ア 学びに向かう学校づくり中核校による実践発表の実施
 - ・国東中学校において、指導教諭が研究主任・生徒指導主事・地域不登校防止推進教員と連携して、生徒の主体性を重視した授業・生徒会活動・学校行事等を推進していく。また、取組を他校に広めるために実践発表を行う。
- ③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画
 - ア 放課後や土曜日の教育環境の充実
 - ・水曜日(毎週)と土曜日(月1回)に、地域指導者のもと、一人ひとりに応じた補充学習を実施する。
 小学校:水曜日(15:00～16:30)、土曜日(月1回)9:00～11:30全小学校にて実施 対象:3年以上
 中学校:水曜日(15:00～16:30)、土曜日(月1回)9:00～11:30全中学校にて実施 対象:3年等
- ④ その他
 - ア 国東市世界農業遺産中学生サミットの開催
 - ・ふるさと国東のすばらしさを探求的な学習を通して学び取るとともに、学んだことを発信する機会をつくり、思考力・判断力・表現力を高める機会とする。

|

